

御田植神事

御田植神事の田植えは、住吉大社が 211 年に創建された時に遡ると言われている。神功皇后が住吉大社を創建したとき、住吉大社の守護神を祀る田んぼを作することを命じた。神社の敷地の南西部にある同じ水田が、今も祭事に使われている。

御田植神事は毎年 6 月 14 日に行われる。お祓いの後、牛が木の鋤を引いて田んぼを耕し、聖水が撒かれる。田植えの際には、色とりどりの衣装を身にまとった踊り子や音楽家が田んぼの端で演奏し、祭を盛り上げる。